

研究課題名「術前血清 D ダイマー値が示す膵癌悪性度」に関する情報公開

1．研究の対象

2012年1月1日～2020年12月31日までに当院で膵切除術を受けられた方。

2．研究目的・方法・研究期間

膵癌細胞は担癌患者の体内で高レベルの tissue factor を放出し、protease-activated receptor-1(PAR-1)の発現上昇と相俟って、血栓形成傾向とともに膵癌進行をきたすことが知られています。血栓形成のスクリーニングマーカーとして術前検査で測定している血清 D ダイマー値が膵癌の悪性度や治療予後と関わる可能性があるのではないかと考え、当院での膵癌治療コホートを用いて検討します。研究期間は、実施承認日から2022年8月31日です。

3．研究に用いる試料・情報の種類

情報：

年齢、性別、病歴、肝疾患治療歴、手術日、手術前後の血液検査結果、腹部CT画像等。

試料：

なし。

4．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550

名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学大学院医学系研究科

消化器外科学

TEL：052-744-2245

FAX：052-744-2252

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・病院講師・林 真路